

がん陽子線治療 セカンドオピニオン外来

陽子線治療は、従来の放射線では治療が困難な疾患にも、効果を発揮することがあります。

陽子線治療

陽子線治療はがんに対して用いる放射線治療のひとつです。正常細胞への影響を抑え、がんに集中してエネルギーを照射します。外科手術のように体にメスを入れずに治療ができるため、体への負担が少ないのが特徴です。そのため生活の質(QOL)を重視したがん治療として、今の仕事・生活を続けながら外来で治療することも可能です。

医療費は先進医療としての扱いとなりますが、2016年に小児がんに保険診療が認められ、2018年4月からは、頭頸部腫瘍(口腔、咽喉頭の扁平上皮がんは除く)、骨軟部腫瘍、前立腺がんにも保険診療が可能となりました。

当センターのがん陽子線治療セカンドオピニオン外来の診療は、南東北がん陽子線治療センターの医師が兼任担当します。南東北がん陽子線治療センターは2008年に民間初の陽子線治療施設として開設され、経験豊富なスタッフが精度の高いがん治療にあっており、累計4000件を超える治療実績を持っています。

1) 保険診療が可能な疾患

頭頸部腫瘍、骨軟部腫瘍、前立腺がん、小児腫瘍

2) 先進医療が可能な疾患

脳腫瘍、頭頸部腫瘍(口腔、咽喉頭の扁平上皮がん)、肺がん、縦隔腫瘍、食道がん、肝がん、胆管がん、膵がん、腎がん、膀胱がん、各種がんの肺転移、肝転移、リンパ節転移

3) 自由診療が可能な疾患

上記以外の疾患で、陽子線治療が臨牀的に有益な結果をもたらすと予想される場合、あるいは外国人など

南東北がん陽子線治療センターが注力しているがん治療

機能温存が求められる頭頸部腫瘍、手術が困難な肺がん、肝がん、膵がんの他、手術や抗がん剤治療と組み合わせた治療などに特に力を入れています。

- 1 頭頸部腫瘍(舌がん、上顎がん、咽頭がん、頸部リンパ節転移など)に対する動注療法、IMRT(強度変調放射線治療)、陽子線治療の集学的治療
- 2 Ⅲ期肺がん(局所進行肺がん)に対する化学陽子線療法
- 3 間質性肺炎や閉そく性肺疾患など低肺機能を合併する肺がんに対する陽子線治療
- 4 食道がんに対する化学陽子線治療
- 5 肝がん、胆管がんに対する陽子線治療
- 6 切除不能膵がんに対する化学陽子線治療
- 7 膀胱がんに対する動注併用陽子線治療
- 8 前立腺がんに対する短期陽子線治療
- 9 オリゴ転移に対する陽子線治療
- 10 放射線治療後の再発例に対する陽子線治療
- 11 消化管に近接する腹部臓器がんに対する異物を利用しないスパーサー手術後の陽子線治療

診療 担当医師



Masao Murakami M.D., Ph.D.

南東北がん陽子線治療センター
センター長

村上 昌雄

2010年
兵庫県立粒子線医療センター院長
2012年
獨協医科大学医学部教授
獨協医科大学病院放射線治療センター長
2017年
南東北がん陽子線治療センター センター長
2018年
浜松PET診断センター セカンドオピニオン外来担当医

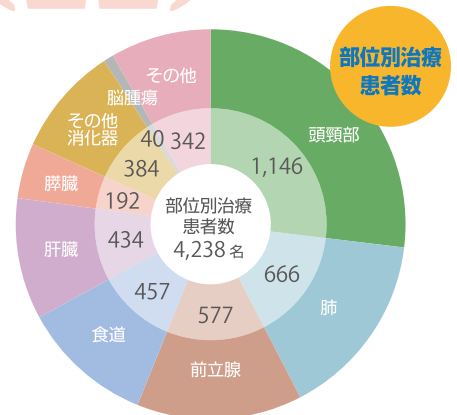
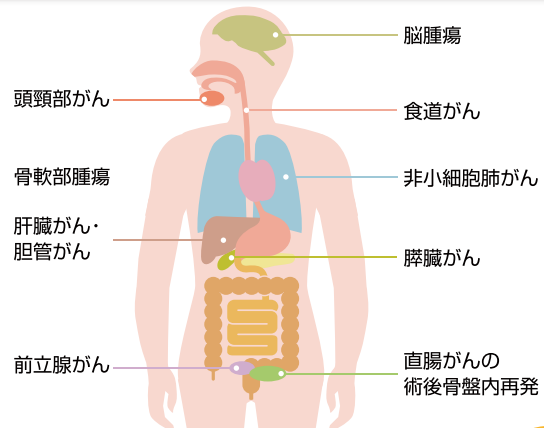


Hitoshi Wada M.D., Ph.D.

南東北がん陽子線治療センター
副センター長

和田 仁

2005年
山形大学医学部准教授
2012年
東北大学医学部放射線腫瘍学分野 臨床教授
2015年
総合南東北病院 陽子線治療研究所所長
2018年
南東北がん陽子線治療センター 副センター長
浜松PET診断センター セカンドオピニオン外来担当医



一般財団法人 浜松光医学財団 浜松PET診断センター

〒434-0041 静岡県浜松市浜北区平口5000(浜松ホトニクス中央研究所内)
TEL: 053-584-6581 FAX: 053-584-6582

🚗 サンストリート浜北から西1.5km
🚉 最寄駅: 遠州鉄道 浜北駅

お問合せ・お申込みはこちらから

[受付窓口] 浜松ホトニクス株式会社 健康情報室
[受付時間] 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時30分(一部祝日除く)

☎️ お電話(フリーダイヤル)
0120-584-722

🌐 公式サイト
www.hmp.or.jp



※浜松PET診断センターの窓口業務は、浜松ホトニクス株式会社に委託しています。